

481

職業介紹公報

震 災 版

第 五 號

大正二十二年十月廿五日發行

中央職業介紹事務局



始



刻下ノ職業市場ノ實情

第一 府下ニ於ケル職業紹介實績

震災以後ニ於ケル東京府下職業紹介事業ノ實績ヲ示セハ左ノ如シ(九月中ノ數字)

求人 數 八九、三六六
求職 數 一〇三、二三三
紹介 數 七七、三八七

(註) 本表中約九割ハ労働紹介ナリトス

第二 東京市職業紹介臨時應急施設經過

市設職業紹介所ハ從來常設ノモノ九箇所(中央、淺草、淺草公園、上野、本所、芝園橋、小石川、四谷、厩橋)ナリシカ六箇所ハ燒失シ、芝園橋、小石川、四谷ノ三箇所殘存セリ

然ルニ罹災者ニシテ失職セルモノ夥シキ實情ニ鑑ミ九月三日ヨリ取敢ヘス丸ノ内吏員講習所内ニ中央職業紹介所假事務所ヲ開設シ尙神田橋外、上野公園内、淺草玉姬町、淺草橋際ニモ假事務所ヲ設ケ殘存ノ芝園橋、四谷、小石川ヲ併セ總計七箇所ヲ以テ労働紹介及ヒ人車相談ノ事務ヲ九月三日ヨリ開始シタリ

開始以來日ヲ重スルニ從ヒ求職者激増シ一方求人數ノ増加ハ之ニ伴ハス需給著シク均衡ヲ失シテ供給過剩狀ヲ呈シタリ

開所以來ノ成績左ノ如シ

自九月三日至九月三十日

職業 求人數

七七、七六六

紹介 求職數

八五、七四一

就職數

六四、〇八三

人事相談

四、六一一

(註) 求職者數ハ登録又ハ登録ニ準シタルモノ、ミヲ示シ集合人員ハ此數ノ約一倍半ニ達ス

現在勞務ノ内容ハ糧食、其他ノ貨物等ノ積卸又ハ配給、諸官公衙ノ雜役夫及燒跡片付等ナルカ日ヲ追フテ求職ト共ニ求人ノ増加ヲ來スヘク觀測セル交通機關ノ不完備ハ聯絡其他需要捜査等紹介所ノ活動ニ寡カラス不便ヲ感スルモ不取敢「臨時求人開拓班」ヲ編成シテ市ノ内外ニ互リ需要口ヲ開拓シ尙內務省社會局トモ相呼應シテ勞力需給ノ調節ニ努力セリ

第三 職業紹介所増設

今回臨時震災救護事務局ニ於テ國費ヲ以テ職業紹介所用バラツク約二十箇所建設ニ決シタルヲ以テ東京市ハ左記ノ箇所ヲ豫定シ之ヲ經營スルコト、ナレリ

神田橋外 (元中央燒跡)

市役所前出張所 (市役所前新設)

淺草橋 (淺草橋際新設)

淺草公園 (元淺草公園燒跡)

淺草玉姬町 (元淺草燒跡)

上野三橋町 (元上野燒跡)

坂本公園 (日本橋坂本公園内新設)

飯田橋 (飯田橋際新設)

麻布六本木 (六本木新設)
高輪
富士前町 (小石川駕籠町附近新設)
業平橋 (業平橋際新設)
櫻田本郷町
深川公園
江東橋 (元本所燒跡)
右ノ外震災ニ罹ラサリシ殘存箇所左ノ如シ

芝園橋 (芝園新堀町)
四谷 (四谷花園町)
小石川 (小石川區大塚坂下町)

第四 刻下ノ需給狀況

目下職業紹介所ニ表ハル、需給狀態ハ求職數五、六千ニ上リ紹介數ハ三千七百ナリトス災以後勞力ノ需要ハ主トシテ臨時應急貨物ノ集散ニ所要ノモノニ限ラル、ノ觀アリシカ昨今個人、會社、官省方面ノ燒跡片付ノ勞務及小屋掛人夫、雜役等徐々増加ヲ見ツ、アルノ現狀ニシテ日ト共ニ需要力増加スルモノト認メラル、一方供給ノ方面ニ於テハ臨時施設開設以來著シク求職者數増加ヲ示シ勞働市場ニ於テ職ヲ得サル所謂「アフレ」ノ數ハ毎朝一千人近キヲ見ル純粹勞働以外ノ一般職業ノ需要ハ一時絕對閉塞ノ觀アリシカ昨今ニ於テハ徐々緩和サレ木工、電工、指物職、守衛、理髮助手、藥局生、店員、外務員ノ如キモノ、申込モ漸ク表ハレ來レリ

最近一句ニ於ケル市設紹介所成績左ノ如シ

東京市職業紹介所成績左ノ如シ(自十月一日至十月十日)

	普通紹介		自由労働		計
	求職	求人	求職	求人	
計	六、三〇七	四、〇九一	一、四〇四	五、〇三八	
男	七、七一一	四、〇九一	五、八〇二		
女	六、〇一〇	四、九四三	五、四四五		
計	三、三〇〇	六	三、三〇六		
男	六、三〇〇	四、九四九	五、七九八		
女	三、九四八	四、三三二	四、六二〇		
計	二、五〇〇	五	二、五〇五		
男	四、一九九	四二、三三七	四六、五三五		
女					

A、女子ノ求職

女子ノ職業ニ就テハ一般ニ未タ多ク職業市場ニ表ハレサルモ震災以前ニモ増シテ殷盛ナルハ女中ノ需要ナリ一方女中希望者ニ至ツテハ極メテ稀ニシテ罹災女子多數ノ今日一見奇異ニ感セラレルモ是レ女子ノ心理未タ安定セサルニモ依ルヘク家庭、避難先等ニ於テモ雜用ニ女子ノ手ヲ要スル向モ多ク又地方ニ歸リタルモノモ相當多數ニ上レル爲ナルヘシ一般職業婦人ノ失業者數ハ相當多數ニ上ルヲ認メラルモ概シテ震災前ニ比シ氣分著シク緊張シテ徒ニ華奢安逸ヲ迫ハサルノ風ヲ萌シタルハ喜フヘキ現象トス

B、頭腦労働者

俸給ニ依リテ衣食スル所謂知識的階級ニ屬スルモノニシテ現在労働ニ従事スルモノハ刻下ノ労働者中一割乃至一

割五分ヲ含ムモノ、如シ之レ知識的職業ニ關シ目下ハ絶望的狀態ニアルコトヲ物語ルモノニシテ此種求職者ハ世情ノ安定ニ伴ヒ日ヲ追フテ増加スルモノト認メラル依テ社會ハ此際ニ於テ知識的階級求職者ノ爲ニ新ニ適當ノ方策ヲ講セサルヘカラス其方策ヲ講スルノ目標ハ只左ノ四途アルノミ

一、此際體面及舊慣ヲ捨テ體力ノ許ス限り労働仕事ヲ厭ハサラシムコト

二、環境及勤務條件ノ不利ヲ忍ヒテ地方ニ移出スルコト

三、新タニ恰當ノ職業ヲ作り其地位ニ充ツコト

四、職業轉換ヘテ容易ナラシタル方策ヲ講スルコト

C、工業労働者

熟練職工ニシテ職業市場ニ求職スルモノ、比較的尠キハ奇異ナル現象ナリ是レ或ハ工場ハ燒失スルモ工場主トノ間ノ雇傭關係力減消セサル爲メ其確定迄希望ヲ繋キツツアル爲モアルヘク又自由労働者ニ比シ多少ノ經濟的餘力ヲ有シ個人又ハ組合ノ手ヲ以テ善後ヲ策シツツアル爲モアルヘク専門技術ニ對スル執着ヲ捨テ難キ事情モアルヘシ

不熟練職工ニ至リテハ求職者モ相當ニ多ク需要方面モ商店ノ雜役、出前持、配達等ニ振向クルモノ鮮カラス

工業労働者ニシテ刻下人夫雜役ニ従事スルモノハ約二割ヲ占ムルモノト認メラル

近來工業労働方面ノ需要トシテハ家具木工、ゴム工、内外電線工等多少現レ來レリ

D、總括

小店員、女中等ノ需要ハ非常ニ多ク之ニ對シ求職尠キハ震災前ノ事情ト大差ナシ需要モ供給モ比較的多キモノハ商店雜役、得意廻リ等トス之レ亦震災前ノ事情ト類似ス只震災後頓ニ増加セルハ人夫雜役希望ノ求職者ナリ之本來ノ労働者ニアラスシテ從前ハ商店員、工場労働、小商人、俸給生活者等ナリシモ止ムヲ得スシテ之ニ投シタルモノ多キタメナリ又現下職業紹介所ヲ訪フモノハ概ネ罹災者ニシテ地方人ハ極メテ鮮シ罹災者中純粹ノ労働者ハ賃金ノ高率ヲ追ウテ請負人ノ下ニ走リ時間長キモ賃金ノ多額ナル仕事ヲ喜フノ風アリ請負人モ亦之ヲ歡迎シ其足ラサルトキハ地方人ヨリ補充セントスル實情ナリ

請負人取扱労働賃金ハ概ネ一圓八十錢乃至二圓四十錢ニシテ二圓内外ノ賃金ヲ得ハ獨身労働者ハ優ニ二日分ノ生計費ニ充ツルニ足ルヲ以テ身心健全ナル獨身者ノ窮迫ハ著シカラスト思料ス窮狀ヲ訴フルモノハ家族持及病人ヲ有スル世帯主ナリトス

労働者ノ地方移出ハ從來ノ經驗ニ依ルモ労働條件、環境等ノ關係上極メテ困難ナル事情アリ然レトモ今日ノ如キ場合ニ於テハ移出ノ可能性ハ比較的強キヲ以テ紹介所ハ職業紹介事務局トモ打合セ労働移動ノ實施ヲ試ミツツアリ然レトモ未タ著明ナル結果ヲ得ス

目下ニ迫リタル問題トシテハ工業労働者就中熟練職工ト俸給生活者ノ救濟處置ナリ職業婦人ノ失職ハ彼等自ラ意志ヲ翻シテ家庭ニ歸ルカ隱忍シテ女中級ニ一時ヲ過スカ

ノ二途アリ若シ夫レ工業婦人ニ至ツテハ地方ニ相當殷盛ナル需要アルヲ以テ必スシモ其解決ニ困難ナラスト認ム

罹災者職業紹介状況 (大正十二年自九月四日至同三十日)

大阪市立職業紹介所

關東地方大震災後九月中大阪市立職業紹介所ニ於テ取扱ヘル罹災者職業紹介状況左ノ如シ

一、取扱總數

求職者數	八、八二四	男	一五九	女	八、九八三	計
紹介件數	六、一〇八		一二二		六、二三〇	
就職者數	三、一六〇		七二		三、二三三	

之ヲ求職者ノ罹災地別ニ分類スレハ左ノ如シ
東京府ヲ罹災地トスルモノ

求職者數	七、六八五	男	一二八	女	七、八一三	計
紹介件數	五、三二六		一〇〇		五、四二六	
就職者數	二、七二六		六四		二、七九〇	

神奈川縣ヲ罹災地トスルモノ

求職者數	一、〇五一	男	二六	女	一、〇七七	計
紹介件數	七一九		一九		七三八	
就職者數	三九九		九		四〇八	

其ノ他ヲ罹災地トスルモノ

求職者數	八八	男	五	女	九三	計
紹介件數	六三		三		六六	
就職者數	三五		一		三五	

一、職業別

(イ) 前職業別

求職者ノ前職業ノ中ニ就テ主ナルモノヲ舉ケレハ
工鑛業ノ三、二二六人(内製版印刷五一、裝身具四六一機械器具三六七、金屬工業三五八等多數ヲ占ム)ヲ第一位トシテ商業ノ二、四五六人(店員一、一八二、飲食店雇人八〇八等)第二位ヲ占メ雜業ノ一、四〇六人(事務員七〇九、配達人三七八等)無職ノ五二二人及ヒ學生ノ二一六人等之ニ亞ク

(ロ) 紹介職業別

工鑛業ノ二、三二九人(金屬工業三六五、裝身具二九九染色二八五等) 商業一、五八六人(店員六〇六、飲食店員四七五等) 土木建築一、〇七七人(土方日傭一〇一五等) 雜業ノ内配達人四四七、事務員二二二、其ノ主ナルモノナリ

(ニ) 就職々業

工鑛業ノ一、〇六六人(染色一六六、金屬工業一五五、裝身具一三七等) 土木建築ノ八八〇人(土方日傭八四九) 商業七〇二人(店員二七三、飲食店員二三三)等ヲ主トス

一、求職者年齢別

二十歳以上ノ者三、七六六人ヲ占メ二十五歳以上二、二二二人、三十歳以上一、一六四人、十八歳以上一、〇七四人、四十歳以上三一一人、十六歳以上三〇三人等之ニ亞ク

一、求職者ノ教育程度

高等小學校同程度學校卒業者ノ三、〇六七人ヲ筆頭ニ尋常小學校卒業同程度ノ二、五二二人、中學女學校半途退學ノ七四四人、小學校半途退學者ノ六六四人等カ數ニ於テ多數ヲ占ム

高等學校、專門學校卒業以上ノ者ハ六三人同上半途退學ハ一七〇人ト云フ數ヲ示セリ次ニ全ク文字ヲ解セザルモノハ五三人ナリ

一、求職者本籍調

更ニ求職者ノ本籍府縣別ニ從ツテ區分スレハ
東京府ノ二、五〇四人最モ多數ヲ占メ神奈川ノ六五四人、新潟ノ三四一人、大阪ノ三二八人、長野ノ二三五人、鹿兒島ノ二二六人、廣島ノ二四一人、富山ノ二〇〇人、愛知ノ一八七人、千葉ノ一八四人、茨城ノ一七七人、石川ノ一七四人、兵庫ノ一六八人、静岡ノ一六二人、京都ノ一

一、職員ノ増加

從來大阪市立職業紹介所ノ職員ハ七十四名ナリシカ九月十一日ヨリ五名十月一日十名計十五名ヲ増加シタリ

二、求人開拓

(イ) 從來七名(内四名本年度豫算ニ於テ特ニ増員)ノ専任開拓班ヲ有セシモ更ニ十名ヲ増加シ専ラ求人ノ開拓

ニ當ルコトナセリ

- (ロ) 求人開拓ノ爲メ専用電話三個増設ヲシタリ
- (ハ) 新聞紙上廣告ヲ爲シ求人開拓ノ宣傳ニ努ム
- (ニ) 宣傳ビラ八萬枚ヲ印刷シ市内各所ニ散布セリ
- (ホ) 依頼狀五千五百枚ヲ印刷シ官公署、銀行、會社、工場其ノ他實業家等ニ發送セリ

一、新設備其他

- (イ) 梅田高女校跡、鼠島、市電教習所内、臨時避難者收容所内ニ各中央職業紹介所出張所ヲ設ケ避難罹災者ノ紹介ニ努メタリ
- (ロ) 梅田驛構内ニ天幕張事務所ヲ設置シ下車避難者ノ紹介ニ努ム
- (ハ) 知識階級紹介部ヲ十月一日ヨリ中央職業紹介所内ニ設ケタリ
- (ニ) 熟練工紹介部モ又十月一日ヨリ中央職業紹介所内ニ之ヲ設ケタリ

關東地方大震災罹災者職業紹介状況

(神戸市中央職業紹介所)

一、緒言

本市ハ關東地方震災後海陸交通至便ナル關係上罹災地ヘノ物資供給並ニ避難者ノ救護慰問ノ爲全市民ヲ舉ケテ戰時狀態ノ活動ヲ演出スルコトトナツタサレハ紹介所トシテモ京濱方面ヨリ避難シ來ル者ノ紹介事務ニツキ萬遺漏ナキヲ期スベク特ニ紹介所長會議ヲ開キ研究對策ヲ凝ラヌコトトナ

ツタ

二、所長會議

九月三日常例所長會議ヲ開催セル時ニハ未タ罹災求職者ハ一名モ來神シナカッタカ豫メ對策ヲ講スルノ必要ヲ認メ左ノ二項ヲ大阪地方職業紹介事務局ニ照會スル處カアツタ
一、罹災者ニシテ求職申込ニ對シ縣外紹介ニ係ル乘車賃金ハ無料ニ取扱ヒ得ルヤ否ヤ
一、震災地ヘ求職者ヲ紹介スル場合乘車賃割引又ハ半減ノ特點アリヤ否ヤ
續イテ八日臨時所長會議ヲ開キ罹災求職者ノ取扱ニ就キ左ノ如ク協定シタ

三、取扱方法所員ノ動員

(一) 海岸突堤ニハ「職業紹介所詰所」ト大書シタ立看板ヲ又停車場前及各收容所ニハ「罹災者ノ爲ニ職業ノオ世話ヲ致シマス手續ニツキ御不審ノ方ハ係員ニオ申シ出下ナイ」ト大書シタ立看板若クハ張紙ヲ掲出スルコト
(二) 特志家ノ義侠的雇傭者開拓ノタメ神戸又新及神戸ノ兩新聞ニ罹災者求職取扱ノコトヲ發表スルト共ニ求人開拓用宣傳ビラヲ市電車内ヲ始メ市内重ナル需用家ノ處ニ衛生組合員ニ託シテ送致スルコト
(三) 職業紹介所出張所ヲ避難民上陸者ノ關所タル突堤稅關地内ニ設クルト共ニ罹災者收容所ヲ所員ヲシテ一日二三回自動車ニテ巡廻セシメ紹介ノ幹旋ニ當ラシムルコト
(四) 各紹介所ニテモ罹災者求職ノ紹介ヲ取扱フモ中央紹介所ヲシテ特ニ突堤出張所驛前案内所及各收容所ト聯絡

湊川、葺合ノ三紹介所ニ配置シ紹介事務ノ助勢ヲ受ケ裨益スル處少クナカッタ十九日ヨリハ別ニ三名ノ臨時傭員ヲ増置シタ

六、自動車ノ利用

本市ニ於ケル罹災者收容所ハ一時二十一班ニ及ヒ東西ニ遠ク隔リ紹介所トノ連絡困難ナルヲ以テ「職業紹介所専用」自動車一臺ヲ備ヘ各收容所及突堤トノ聯絡並ニ求人開拓ニ使用シ利スル處少クナカッタ
二十七日突堤出張所ヲ撤廢スルト共ニ之カ使用ヲモ中止スルコトトシタ

七、紹介成績

罹災者取扱期間中ハ日曜、祭日ヲ廢シ又平日モ午後七時乃至八時迄執務時間ヲ延長シ所員總出トナリテ紹介事務ニ執掌スル處アリシカ九月五日始メテ罹災者ヲ受付ケテヨリ本月三十日迄二十六日間ニ於テ取扱タル成績別表ノ通りテアルカ求人中最キ多キハ女中及少年テアツテ日々二十件ヨリ六七十件ニモ達シ一々之カ要求ニ應ジ難キヲ以テボスタ一ヲ以テ女中及少年ノ求職者少キヲ以テ之カ需用ニハ容易ニ應ジ難キ旨ヲ宣傳スルノ已ムナキニ至ツタ之ニ反シ男女事務員及各種熟練職工等ハ需要甚之シキタメ紹介上頗ル困難ヲ感シタ
今職業紹介所、中央、兵庫、葺合、湊川、四ヶ所ニ於テ取扱タル罹災者ニ對スル職業紹介並ニ東、西兩労働紹介所及神戸驛前案内所ニテ取扱タル件數ヲ記セハ左ノ通りテアル

六

ヲ取り集注的ニ紹介ノ勞ヲ探ラシムルタメ各紹介所ヨリ三名ノ所員ヲ中央紹介所ニ動員セシムルコト

四、求人開拓方法

一、外交員ノ増員
從來求人ノ開拓調査ニハ一名ノ外交員ヲシテ擔任セシメシカ罹災者紹介ヲ開始スルニ至リ更ニ多方面ニ求人口ヲ探查スルノ必要アルヲ以テ二名ヲ増員シ都合三名ノ所員ヲシテ舊求人口ノ整理及新求人口ノ開拓ニ當ラシム
一、新聞ノ利用
神戸並ニ大阪ノ諸新聞ニ罹災者求職取扱開始ヲ宣傳シ爾後取扱狀況紹介成績ヲ發表シ市民一般ノ了解ヲ得ルニ努メタリ

一、ビラ及ボスターノ撒布

ビラ五千枚ヲ印刷シ市電車内、兵電停留所ニ揭示スルト共ニ市内衛生組合長ニ依頼シ重ナル需用先ニ宣傳ス又縣下樞要都市ニ宛テ求人口通報方ヲ依頼ス
本市紹介所作製ノボスター五千枚大阪地方職業紹介事務局調製ノボスター二千七百枚ヲ重ナル官廳、會社、工場其他多人数集會ノ場所ニ掲出ス

五、關西學院學生ノ應援臨時事務員増置

罹災者ノ紹介所ニ來所セシハ五日ニ一人六日、七日ニ七人宛ナリシカ八日ニハ俄ニ三十人以上ト成リ遂日激増シユクヲ以テ到底舊來ノ所員ノミニテハ事務ノ敏速ヲ期シ難キ折柄幸ヒ關西學院高等學部社會科學生十四名ノ奉仕の來援ヲ受クルコトト成リ九月十二日ヨリ四日間中央

罹災求職者ハ九月中職業紹介求職者全數三、六六五人ニ對シ四割八分強ニ該當シ又罹災者紹介件數ハ紹介件數全體ノ二、六七九件ノ五割四分弱ニ該當シ罹災者就職者數ハ就職者全數一、六二八人ニ對シ六割ニ該當ス

求職者數	男	一、六六七	計	一、七七七
就職者數	男	九一	計	一、四四六
求職者數	女	八五二	計	九七七
就職者數	女	八五	計	九七

求職者數	九九六
就職者數	九〇四
案内所取扱數	一、四五〇

愛知縣失業救濟懇談會

愛知縣ニ於テハ今回ノ關東震災ニ就キ官民一致多大ノ同情ヲ寄與セラレ疾ク應急救済ノ施設ヲ講セラレ其ノ效積ノ顯著ナルハ感謝ニ堪ヘナイ所テアルカ太田愛知縣知事ハ今後生スヘキ罹災失業救済ニ意ヲ用ヒラレ十月十五日縣會議事堂ニ於テ失業救済懇談會ヲ開催スルコトニ決シ縣内官公署、會社、工場、各種組合ニ右ノ書面ヲ發送シタ
拜啓

秋冷之候愈々御清適奉賀候陳者過般關東地方ニ於ケル震災ノ爲多數ノ失業者ヲ出シタルコトハ既ニ御承知ノコトト存候處是等ノ者ハ住家ノ滅失ト收入ノ途ヲ絶タレタルトニ因リ生活ヲ脅威セララルコト甚シキヲ以テ政府ニ於

七

テモ目下銳意之カ救済ニ努力セラレ居候へ共何分多數ノコトナレハ一時ニ之ヲ就職セシムルコトハ困難ノコトニシテ殊ニ熟練職工及俸給生活者等ニ至リテハ一層就職難ヲ訴ヘツ、アル狀況ニ有之是等ノ者ニ適當ノ職業ヲ與ヘ生活ノ安定ヲ得セシムルコトハ實ニ刻下焦眉ノ急務ト存候ニ就テハ本縣ニ於テモ一層此ノ方面ニモ力ヲ致度先以テ來ル十五日午前十時本縣會議事堂ニ縣下ノ重ナル官公署會社、工場及各種實業組合等ノ代表者ノ御會同ヲ相煩シ篤ト御懇談申上度存候付テハ當日御迷惑ナカラ貴所ヨリモ相當ナル代表者ヲ出席セシメラレ候様致度此段特ニ得貴意候

大正十二年十月十二日

愛知縣知事 太田 政弘

然ルニ當日出席者七十二名、知事代理加勢内務部長其ノ他縣、市當局者臨席シ午前十一時開會先ツ加勢内務部長ヨリ一場ノ挨拶アリ左記事項ノ懇談ヲ遂ケタ何レモ其ノ意ヲ諒トシ罹災者ノ採用ニ努メラルルコトニナツテ午後一時半散會シタ當日中央職業紹介事務局ヨリ福原事務官、大阪地方職業紹介事務局ヨリ奥山屬出席シタ

加勢内務部長ノ挨拶

今日ハ知事カ上京不在中テアリマスルカラ私——内務部長ノ加勢テアリマス——カラ一言御挨拶申上ケマス御多忙ノトコロ今日皆サンニ御寄リヲ願イマシタノハ御案内狀ニ大體盡シテオキマシタ如ク罹災地失業者ノ救済ニ就テ御懇談ヲ願イ有力ナル皆サンノ御助力ヲ仰キタイト云フ

ノ趣旨テコサイマス十時開會ノ御使イヲ上ケマシタニモ不拘モウ大分時間モ經過イタシタマシタ實ハ社會局ヨリ中央職業紹介事務局福原事務官カ臨席シテ御願イヲ致ス管ニナツテ居リマスカ汽車カ遅レタモノカ未タ着キマセン併シコノ上時間ヲ延スコトハ御多忙ナル皆サンニ對シテ心苦シイ次第テアリマスカラ先以テ私カラ一應御懇談ノ糸口ヲ申上ケルコトニ致シタイト思ヒマス

今回ノ災害ニ就キマシテハ御承知ノ通り本縣ハ出來得ル丈ハ之カ救済、活動ニ努力イタシタノテアリマス而シテ本縣ノ救済事業ハ豫期以上ノ好成绩ヲ擧ゲ得タノテコサイマス之ハ一ニ縣民各位ノ御同情ト多大タル御援助トニヨル結果テアツテ深ク感謝ニ堪ヘサル所テアリマス幸イ私ハコノ機會ニ於キマシテ救済事業ノ大要ノ經過ヲ申上ケマシテ御禮ニ代ヘタイノテアリマス

當地ニ於テ今回ノ災害ヲ最初ニ聞キマシタノハ九月一日夜半、二日ノ午前二時頃ノコトテアツテ日本電報通信名古屋支局員ヨリソノ報知ヲ受ケタノカ抑モノ始メテアリマシタ當時トウカシテ災害ノ詳細ノ狀況ヲ知リタイト思イマシタ色々焦慮ツテミマシタカ御承知ノ通り通信機關カ全然利カナイノテ只心ヲ痛メルノミテアリマシタ二日早朝第三師團司令部ニ參リマシテ色々協議ヲ致シマシタ處陸軍テハ各務ケ原ノ飛行機ヲモツテ通信飛行ヲ敢行スルト云フ計畫テアツタノテ先ツ縣民ヲ代表シテ知事ヨリ、天機奉伺ト各省大臣ヘノ御見舞狀トヲ飛行機ニ託送イタシマシタ同日ハ日曜テアリマシタカ縣廳ノ各課長以上ヲ招集シテ救済上ノ大體

方針ヲ講シタノテアリマス同日午後飛行機ハ東京方面ノ偵察ヲ終ヘテ歸リマシタカ其ノ報告ニヨリテ慘害ノ程度ハ實ニ言語ニ絶スルモノアルヲ知リマシタノテ先ツ第一ニ食糧供給ヲ急務ト認メ翌三日急遽參事會ヲ開イテ救済費十三萬圓ノ支出ヲ決シ米、味噌、梅干、漬物、鹽ヲ送ル手筈ヲ整ヘタノテアリマス同日又市長、商業會議所會頭、縣農會長ト知事トカ寄リマシテ救済會設立ノ協議ヲ致シ直ニ義捐金品ノ募集ヲ發表スルト共ニ五日ヲ以テ救済會ノ發會式ヲ舉グルニ至リマシタ初メ義金ハ三四五十萬位ノ豫想テアツタノテスカ發表ト同時ニ縣下全般ノ同情ト義心トハ翕然トシテ集マリマシテ半ヶ月ナラスシテ八十萬ヲ超ヘ月末ニハ百十五萬圓ニ達スルニ至リマシタ先月限リテ募集ハ一先ツ締切ルコトニ致シマシタカ其ノ後申込ハ絶ヘス此ノ十三日現在ニヨルト既ニ百二十五萬圓ニ達セントシテ居リ此外ニ食糧トカ衣服トカ器物トカ慰問袋等ノ物品ノ寄附モ非常ニ多キニ達シ價額ニ見積リマシテ五十萬圓ハ恐ラク下ノマイト思ハレル盛況テアリマス一方十三萬圓ノ縣費ヲ以テ差當リ白米三千俵鹽百噸雜詰二萬二千二百十六個ヲ即時調達シマシテ偶々日本郵船ノ富美丸ト云フ船カ三日出帆ノ筈テアリマシタカラ之ヲ輸送船トシテ借入レヤウト交渉ヲ盡シマシタカ乍殘念コノ交渉ハ纏マラス同船ハ出帆シタノテアリマシタソレカラ色々手ヲ盡シ縣官ヲ三重縣等ヘ派遣シテ輸送船ヲ見付ケヤウト隨分苦心慘膽イタシマシタカ漸ク六日出帆ノ御寄丸ニ積込シタヤウナ次第テアリマス同船ハ八日早朝芝浦ニ着キヤ直チニ揚荷ヲ初メタノテ確カ十日ニハ

全部揚陸ヲ終ツタ管テス當時東京テハ白米カ全ク無クナツテ居リマシタノテ本縣カリ送りマシタ白米ハ非常ニ喜ハレタノテス澤山ノ輸送船ハ着イテキテモ皆揚陸カ出來ナイテ停滯シテ居ル際ニ本縣ノ白米カ眞ツ先ニ揚ケラレタト云フヤウナコトモソレカ爲テアツタソツテス、コレハ後ニナツテ聽イタコトテスカ大阪ヘハ一日ノ夜早ク既ニ東京方面ノ災害ノ報カ着イタト云ヒマス、ソレハ皆サンモ新聞ニヨツテ御承知ノコト、ハ存シマスカ神奈川縣警察部長カ海ヲ泳イテ行ツテコレア丸カラ「當市未曾有ノ大災ニテ死傷幾萬ナルヲ知ラス糧食ノ救援ヲ頼ム」ト無線電信ヲ大阪ヘ打ツタノテアリマス、テスカラ大阪府當局テハ即時船舶業者ヲ集メテ輸送計畫ヲ立テマシテ第一回ノ輸送船ハ夙クモ三日ニハ横濱ヘ着イタト云ヒマス、當市ハソレヨリ少シ遅ク報告ヲ聞イタノテアリ且ツ大阪神戸等トハ異リ誠ニ船便ノ都合ノ惡イ所テ輸送カ思フヤウニ急速ニ行カス、六日ニナツテ出帆セシメタノテアリマスカ併シ揚荷ハ頗ル早カツタノテアリマス、東京ヘハ近縣等カラ米モ行ツタテセウケレト自動車位テ運搬シタノテアルカラ勿論充分ノコトハ出來マセス、大阪方面カラモ東京ニ船ハ入りマシタカ倉惶出帆シタノテ何レ大量ノ米テハナカツタラウシ荷揚ハ出來ナイテ居リマシタノテ本縣ヨリ送りマシタ白米ハ兎ニ角ニモ大量輸送米トシテハ第一着ニ東京ニ這入ツタモノト信シテ居リマス、次テ伏見丸ニ玄米三千俵味噌千四樽梅干四千貫ヲ積ンテ九日ニ出帆サセマシタカ救済會義金ヲ以テモ東京ヘ卯二十八萬ケ横濱ヘ十萬ケヲ送り續イテ煉乳、パケツ、

衛生材料、繭詰、蔗紙等ヲ送りマシテ輸送船ハ筑後丸、阿蘇丸、竹島丸、夕張、葵、平榮丸、北斗丸等カ續々ト發航シタノテアリマス、之等ノ輸送船ハ皆陸揚カ出來テ配給モ着々都合ヨク進ンタノテ、中ニハ下積ニナツタ爲揚荷ノ後レタノモ多少ハ有リマシタヤウテスカ大體ニ於テ皆配給ハ濟ミマシタ、派遣シテオイタ吏員ハ之等ノ狀況ヲスツカリ見届ケマシタ上テ去ル八日ヲ以テ引揚ケテ歸應イタシタノテアリマスカ本縣ヨリ送りマシタ慰問袋——十數萬ノ多數テス——ハ岐阜縣ノト共ニ一番評判カ良クテ歡迎サレタソウテス、斯ク總テカ非常ニ好都合ニ運ヒマシテ他府縣ニ勝レタ好成绩ヲ以テ救濟ノ實ヲ擧ゲ得タノテアリマス又一面縣内ノ活動トイタシマシテハ皆サンニ於テモ既ニ御覽ノ通りテアリマスカ避難民テ縣内ニ一旦落着イタ者ノ數ハ先月中テ十一萬三千餘人ニ上リ名古屋市ニ下車シタ避難民ノミテモ十五萬一千二百ニ近イ多數テアリマス此ノ中テ一時救療ヲ受ケタ者カ五千八百六十人、一時ノ救療テイカナクテ入院セシメタ者ハ百十七人ノ内二人ハ死亡シ現在未タ三人程残ツテ居リマス、各縣ニハ軍人、青年、信仰團體等百幾十ト云フ多數ノ團體カ毎日出動シテ救護ヲ援助シ又寺院、會社、宗教團體其他ノ篤志家ニ依テ無料宿泊ヲナサシメタ避難民ハ今日迄ニ調査ノツイタモノノミテモ一萬一千餘人ニ上ツテ居リマス、之等各方面ニ於ケル隠レタル援助ト云フモノハ實ニ甚大ナモノテアリマス、之ニ對シマシテハ私ハ何レカノ機會ヲ見テ感謝ノ意ヲ表シタイ考ヘテアリマスルカ斯ク官民一致ノ努力ニ由リ本縣ノ救濟事業カ豫期

以上ノ好成绩ヲ擧ゲ得マシタコトハ誠ニ喜ヒニ堪ヘナイ次第テコソイマス。

救濟ノ事業ハ之ヲ以テ完了シタモノテハアリマセンカ今後ノ措置方法ニ就テハ自ラ別ナモノカアラウト考ヘラレルノテス、惟フニ救濟ノ方法ト致シマシテハ必スシモ終始一律的ニ行クヘキモノテナイト考ヘテ居ルノテアリマス、詰リ一段ニモ二段ニモ三段ニモ方法ヲ立テルノ必要カアル假令ハ第一ノ救濟ハ何ヨリモ食糧カ必要テアラウシ次ニハ衣服トカ更ニ住居——小屋掛材料等ノ供給ト云フヤウナ順序ニ運フヘキモノテアラウ食糧ノ如キハ何レ各地方ヨリ集積サルルニ違イナイカラサウサウ無際限ニ供給スルノ要ハナイノテアリマス、又當時ノ狀況テハ輸送シタ所テ揚陸ヤ配給カ却々至難テアルカラ餘程考ヘモノテアル、タカラモウ十日後ニナツテミレハ食糧ヨリモ衣服トカ毛布トカノ物ノ方カ必要テアリ更ニ物ヨリモ現金ヲ送ル方カ遙ニ便利テアラウト考ヘラレマシタノテ本縣ハ救護局當局トモ打合せマシテ物資ヲ買ツテ送ルコトハ一先ツ打切トシテ成ルヘク募集シタ義金ハ使ハスニオイテ現金テ多クテ送ル方針ト致シタノテアリマス、而シテ假ニ災害發生ノ先月ヲ救濟ノ第一期トテモ申シマスルナラハ此ノ期間ハ衣食住ト云フモノニ對スル救濟カ急務テアツタノテアル、衣食住ニ對スル應急措置モ略ホ行渡ツタノテアルカラ今月トナツテハモウ救濟事業ノ第二期ニ移ツタモノト謂ハレマセウ、然ラハ第二期救濟方法トイタシテハ何カ要諦テアルカ既ニ衣食住ニ對スル救濟事業ハ目鼻モツイタコトテアルカラ今度ハ罹災者ニ生

産ノ途ヲ拓イテヤラネハナラヌ、失業者ニ職業ヲ與ヘテヤラネバナラナイコトテアラウト私ハ確信スル、東京テハ山ノ手方面ノ災害ヲ免カレタ家ニハ何所ニモ罹災者カ轉リ込テルノテ生活費ハ一層嵩ムノミテ收入ノ殖ヘナイノハ未タシモ災害ノ爲ニ減收シタリ乃至ハ失業シタ者モ多イソウテスカ之等ノ人ノ痛苦ト云フモノハ二重ニモ三重ニモ遞加サレタ譯テアリマス、殊ニ多數労働者ノ失業ト云フコトハ重大ナ社會問題テアル、既ニ復興院等モ出來テ着々復興ノ事業ハ進歩シテ行クテハアリマセウカ社會ノ生産機能カ組織的ニ復活スルコトハ未タ前途相當ニ遠イコトテアラウト思ハレマス、此ノ場合多數ノ失業者ニ悉ク職業ヲ與ヘルト云フコトハ到底出來ナイ相談テアル、就職ノ困難カ惹イテ生活ノ不安トナルノ結果ハ人心ハドンナ風ニ惡化シナイトモ限ラナイ、目下東京ニハ救濟ノ目的テ地方ノ青年團ヤ軍人會ノ人達カ澤山ニ這入ツテ居リマスカ此ノ裏面ニハ益々労働者ノ領域ヲ侵害シ失業者ノ就職ヲ困難ナラシメテ居ル事實カアル爲ニ救護局等テハ之等ノ無給俸任者ニ寧ロ早ク地方ニ還ツテ貰ヒタイ希望サヘ持ツテ居ル位テアリマス、又地方ヨリ一儲ケシヤウ位ノ企テ續々上京スル者カ殖ヘルハカリテアルカ之等モ又益失業者ノ就職ヲ困難ナラシムルノテス故ニ此ノ際ハ勞力ノ中央集權ハ禁物テアル、宜シク中央集權主義ヲ捨テ、地方分權主義ニナラネハ不可ナイ、元來今日迄ト云フモノ總テカ餘リニ中央集權主義ニ傾キ過キタ嫌カアリマシタ何テモ彼テモ東京ニサヘ行ケハト云フ風ナ工合カラ人物テモ秀才ハ田舎ニ居ラス皆東京ニ

行ツテ終フ人間マテカ中央ニ集中シテ終ツタ結果地方ハ人物ノ窮乏勞力ノ枯渴ヲ告ケテ居ルノテアルカラ此度ノヤウナ機會ニ労働者ヲ地方ニ還元シテ地方産業ノ振興ハ策ヲ計ルト云フコトハ獨リ失業者ノ救濟トナルノミテナク地方ノ活力ヲ増進スル上ニ於テ正ニ爲スヘキノ時務カト思ハレルノテス、多數失業者ヲ此ノ儘ニ捨テオイタナラハ思想ノ惡化、社會ノ不安ハ當然免カレナイ歸結テアル、爲政家世ノ事業家資本家等ハ思ヒテ深ク茲ニ潛メネハナラヌ問題ト考ヘラレルノテス、即チ此ノ意味ニ於テ災害ニ對スル救濟事業ハ今ヤ正ニ第二期ニ入ツタモノテアル事ハ何人モ否マヌ所テアラウト思ハレマス、皆サンノ御助力ヲ願フテ之等失業者ヲ出來ル丈地方ニ吸收シテ救濟シテヤリタイ考ヘテ今日御懇談ヲ願フノテスカ既ニ今日迄ニ於テモ皆サンノ御配慮ニヨリ當地テ就職シタ罹災者ハ二千六百人ト云フ多數ニ上ツテ居リマスノテ尙此ノ上多數ヲ收容シヤウト云フコトハ可成リ無理ナ御願イカモ知レマセン、併シ政府ニ於テモ目下此ノ問題ニ就テハ非常ニ心配セラレ本縣ニ對シテモ社會局長官ヨリ懇々ノ依頼カ參ツテ居ルノテアリマス私カ申ス迄モナク當地ハ中部日本ノ形勝ヲ占メタ一大工業地テアリ殊ニ木綿、毛布、メリヤス、陶器、時計ト云フヤウナ生活實用品ノ製造カ仲々盛ナ土地テコソイマスカラ實ハ今回ノ如ナ機會ハ當地ト致シマシテハ之等工業ノ發展ヲ策セラレルニ最モ好都合ナ秋テアラウカトモ思ツテ居リマス遣リ様ヲハ隨分ト生産ノ能力ヲ擴張シ販路ヲ擴張スルコトモ出來ヤウカト考ヘルノテアリマス此ノ際皆サンニ一面失業者ヲ救濟

シ一面本縣ノ工業發展ヲ計ル上ニ於テ是非充分ノ御奮發ヲ願イタイ御助力ヲ煩シタイ、第一期ノ救濟事業ニ多大ノ御助力ヲ與ヘ下スツタ如ク第二期ノ救濟事業ニ付テモ引續イテ層一層ノ御同情ヲ願イタイ、出來ル限リハ此方テモ便宜ヲ講シル考ヘテ居リマスカラ尙此ノ上ニモ失業者ノ採用ニ就テハ皆サンノ御配慮ニ預リタイノテ今日ハ態々御多忙ノ處ヲ御差繰願ツタ次第テコサイマス。

何レ午後ニハ福原事務官ヨリモ御懇談申上タルコトアリマセウカ先以テ只今御手許ニ配布イタシタヤウナ事項ニヨリマシテ御相談ヲ願ツテオキタイト思ヒマス。

懇談事項

- 一、諸官公署、會社、工場其ノ他ニ於テ施行スヘキ事業ニハ此際成ル可ク罹災地ノ失業者ヲ採用セラレタシ
- 二、此際罹災罹難者ニツキテハ技能ノ如何ニノミ偏セス成ル可ク同情的態度ヲ以テ採用スルノ方針ヲ取ラレタシ
- 三、諸官公署等ニ於テ本年度豫算ニテ施行スヘキ事業ハ成ル可ク此際施行セラレ罹災地ノ失業者ヲ之ニ當テラレタシ
- 四、求人申込ハ關係係員ヲ派遣蒐集セシムル豫定ナレハ左記要項ニ依リ本月二十二日月迄ニ取纏メ置カレタシ
- イ、職業ノ別
- ロ、賃金、雇入期間、勞務ノ場所
- ハ、希望條件又ハ紹介上參考トナルヘキ事項アラハ其ノ詳細
- 五、第一回求人蒐集以後ニ於ケル求人申込ハ其都度本縣社

地方移動交換部設置其ノ他職業紹介事務打合せハ二十二日午後一時三十分ヨリ社會局ニ於テ開催シタ田子中央職業紹介事務局長、福原事務官、遊佐東京地方職業紹介事務局長及兩局職員、東京府及神奈川縣下職業紹介所長等四十餘名出席、先ツ田子局長ヨリ今次ノ震災以來職業紹介關係職員ノ奮勵努力セラレタル成績ヲ陳謝シ左記要項ニ依リ來ル二十五日ヨリ地方移動交換部ノ設置スルニ至リタル經過ヲ述ヘ今後一層ノ奮勵ヲ望ム旨挨拶ヲ爲シ福原事務官ヨリ詳細説明スル所アリタルカ上木東京市中央、片岡芝園橋其ノ他紹介所長ヨリ從來ノ經驗ニ徴シ注意ヲ要スヘキ事項及就職者ノ外家族ニ對シテモ汽車賃ヲ割引セラレタキコト旅費貸付其ノ他ノ希望アリ今後ニ於ケル取扱上ノ打合ヲ了シ鶴澤東京府ヨリ失職熟練工ノ現況中川東京市中央ヨリ失職婦人ノ現況中西勞動共濟會ノ本所、深川ニ於ケル罹災工場ノ現狀齊藤南千住ノ郡部ニ於ケル紹介狀況等ヲ開陳スル所アリ最後ニ遊佐局長ヨリ交換日報其ノ他事務上ノ打合ヲ爲シ午後四時散會シタリ

職業紹介事務局地方移動交換部設置要領

震災地ニ於ケル熟練工及智識階級其ノ他罹災失業者ノ地方移動及震災復興事業ニ必要ナル勞務ノ需要ニ對スル地方ヨリノ供給ヲ圓滑ニシ勞務ノ需給調節ヲ圖ル爲職業紹介事務局ニ地方移動交換部ヲ置キ左記各項ニ依リ施行スルコト

- 一、各職業紹介所ニ於ケル求職者ニシテ他地方ニ於テ就職ヲ希望スル者ハ地方移動交換部ニ出頭セシムルコト但シ職業紹介所ニ於テ紹介シ得ルモノハ此ノ限ニ在ラス

會課宛ニ電話(東二九九〇)又ハ書面ヲ以テ申込マレタシ因ニ九月中罹災避難者ニシテ名古屋驛ニ下車シタル者ハ十五萬千五百七十七人ニシテ其ノ中名古屋市ニ滞在シタル者十一萬三千人ニ達シタルカ尙ホ其ノ中二千五百九十四人ハ職業紹介ヲ爲セリ其ノ狀況ノ詳細左ノ如シ

罹災民職業紹介狀況

(九月三十日現在)

紹介所並ニ救護團體	紹介數
名古屋市立職業紹介所	二、〇〇二
慈友會職業紹介所	三七四
愛知職業紹介所	一一四
金光教會救護所	七
白鳥山救護所	五
共樂園救護所	一五
大正館救護所	一〇
服部源太郎	一〇
東別院救護所	二二
明力教會救護所	二
愛國婦人會救護所	一
西別地救護所	八
鮮人救護所	二四
合計	二、五九四

備考 紹介數ハ就職シタル件數ヲ掲ク

職業紹介事務打合せ

- 二、他地方ニ就職セムトスル求職者ハ成ルヘク地方移動交換部ニ直接出頭申込ヲ爲スコトヲ宣傳スルコト
 - 三、震災地ニ於テ復興事業ニ必要ナル勞務ノ需用ニ對シ地方ヨリ供給ヲ受ケムトスルトキハ地方移動交換部ニ於テ之カ申込ヲ受クルコト
 - 四、震災地復興事業ニ關スル勞務ノ需用アルトキハ之カ供給ヲ爲シ得ヘキ地方ト聯絡ヲ執リ需給調節ヲ圖ルコト
 - 五、各地方廳、大阪地方職業紹介事務局其ノ他地方ニ於ケル職業紹介所ヨリ一層精確ナル求人ノ申込ヲ需メ且ツ地方ニ於ケル求人開拓ニ努力スルコト
 - 六、就職旅行者ニ對スル旅費ノ貸付及汽車汽船賃ノ割引等ハ出來得ル限リ便宜ヲ圖ルコト
 - 七、横濱市ニ支部ヲ設ケ職員ヲ派遣シ聯絡ヲ圖ルコト
 - 八、罹災失業者ニシテ地方ニ就職ヲ希望スル者ニハ努力ヲ紹介ニ盡カスルコト
- 失業者ノ地方移動ニ就テ
- 田子中央職業紹介事務局長談
- 今回ノ大火災ニ因リ燒失倒壊又ハ半燒半潰等ノ災害ニ罹リタル工場ハ東京府下ニテハ一萬三千有餘ヲ算シ横濱市内ノ工場法適用工場二百九十九ノ中災厄ヲ免レタルモノ僅ニ十九其ノ他千葉、埼玉、靜岡縣等ニ於ケル被害工場モ尠カラズ工場労働者ハ勿論、銀行、會社及商店等ノ従業員ノ如キ所謂知識階級ニ屬スル失業者モ頗ル多數ニ上ツタ之カ

救済ニ就テハ素ヨリ官民一致同心協力シテ最善ノ方途ヲ講セネハナラヌ政府トシテハ種々ノ方面ニ極力ノ力ヲ對策ヲ講セラレテ居ルカ職業紹介機關ノ活躍ハ最モ緊要ナル東京横濱兩市ノ焼失シタ職業紹介所ハ大部分天幕張或ハバラツクヲ建造シテ職業紹介ノ事務ヲ開始シタカ尙二十五箇所ノ職業紹介所ヲ増設シ又求人班ヲ組織シ或ハ新聞廣告、宣傳ピラ等ニ依リ求人ノ開拓ニ努メ又陸軍省ヨリ労働用具ヲ借入レ労働者ノ就職ノ便ヲ圖ル等大ニ活動シテ居ル然ルニ各職業紹介所ヘハ多數ノ求職者カ殺到スルモ最近東京府下職業紹介所一日ノ紹介人員六千餘人其ノ約八割ハ労働紹介ニ屬シ日下ノ處需要ハ燒跡ノ整理、灰燼ノ仕末、荷役、バラツク建築等ノ難役人夫ニ過キヌ破壊サレタル生産機能カ組織的ニ復活スルニハ相當ノ時日ヲ俟タネハナラヌノデ所謂熟練工ヤ知識階級ノ就職口ハ甚タ少ナク洵ニ遺憾ニ堪ヘナイ而シ一面震災地ノ産業破壊ニ因リ地方ニ於テ隆興スヘキ産業ハ尠クナイ夫レテ此等ノ方面ヘ失業者ヲ移動就職セシメ勞務ノ需給調節ヲ圖ルニ於テハ幾分緩和シ得ル次第テアル曩ニ内務次官及社會局長官ヨリ罹災失業業者ノ救済ニ就キ地方長官ヘ通牒セラレタカ既ニ關西方面重要都市ノ職業紹介所ニ於テ九月中罹災失業業者ヲ紹介シ就職セシメタ人員ハ大阪市七、五〇〇人、京都市一、一〇〇人、神戸市一、五〇〇人、名古屋市二、六〇〇人、合計一萬二千七百七十人ニ達シテ居ル十月一日カラ大阪府中央職業紹介所ニ知識階級及熟練工ノ兩紹介部ヲ特設シテ専ラ之ニ當ルコトトナリ愛知縣ニ於テハ去ル十五日太田知事ノ主催テ官公署、名古屋商業會

議所、會社、工場及各種同業組合ノ代表者ヲ召集シテ失業救済懇談會ヲ開催シタノテ當局ヨリ福原事務官ヲ派遣シ罹災失業業者ノ採用ニ就キ懇談セシムル所カアツタ當時既ニ五百七十餘人ノ求人ヲ得テ居ツタカ尙ホ二十二日マテニ更ニ求人數ヲ取纏メテ申出ツルコトニナツテ居ル要スルニ纏ツタ大口ノ求人ハ尠イカ各府縣知事及各市町村長職業紹介所長等ノ盡力ヲ續々求人ノ申込カアリ何レノ地方ニ於テモ一時ニ多數ハ困難テアルカ少々ツツハ就職セシムル餘裕カアル狀況テアル各地方ニ於テモ同情ヲ以テ迎ヘ就職者ノ旅行ニハ汽車、汽船賃モ半減ノ便アリ此際奮發シテ、臨時ノ事業ニ非サル限リ定住ノ意思ヲ持テ地方ヘ赴ク覺悟ヲ爲セハ就職ハ左程困難テアルマイ或ハ成功ノ階梯トモナルテアラウト思フ又震災地復興ノ爲ニハ家屋建築ニ關スル大工、左官、石工、屋根職、疊職、鉞力職等ノ勞務者ノ需要カ激増シテ震災地方ニテ供給ニ應ジ難キヲ慮リ當局ニテハ各地方ヨリ之カ供給ニ應ジ得ヘキ人員、賃銀等ヲ調査シ何時ニテモ需要ニ應ゼラルヘク手筈ヲシテ居ルツレテ各地方ト聯絡及取扱上ノ便宜ヲ圖ル爲ニ中央職業紹介事務局内ニ地方移動交換部ヲ設クルコトニシタ地方ニ職ヲ求ムル者及建築ニ關スル勞務者ヲ多數需要スル者ハ直接當部ヘ申込マレタニ震災地内ノ職業紹介所トモ聯絡ヲ執リ其ノ機能ヲ充分ニ發揮シ效果ヲ擧ケタイ考ヘテアル

職業紹介日報

大正十二年十月十八日發行

中央職業紹介事務局

十月十一日ヨリ同十五日迄ニ於ケル東京及ヒ横濱ニ於ケル一般及ヒ労働職業紹介狀況左ノ如シ。

東京市職業紹介所

月日	求人數		求職者數		紹介件數	
	男	女	男	女	男	女
十月一日	一、一七	三三	一、一〇	一、〇八	六七	五
同 二日	一、五四	三三	一、八五	一、四二	八四	九三
同 三日	一、〇五	三〇	一、一七	一、〇〇	六九	六二
同 四日	一、〇〇	三三	一、一三	一、〇九	六二	六三
同 五日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 六日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 七日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 八日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 九日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 十日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 十一日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 十二日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 十三日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 十四日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
同 十五日	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇
計	一、〇二	二〇	一、二四	一、一七	七四	六〇

横濱市職業紹介所

月日	求人數		求職者數		紹介件數	
	男	女	男	女	男	女
十月十一日	二、三	一〇	二、四	一、〇	一、〇	一、〇
計	二、三	一〇	二、四	一、〇	一、〇	一、〇

十月十三日	大口求人數 五	小口求人數 一	十月十四日	大口求人數 一	小口求人數 一	十月十五日	大口求人數 五	小口求人數 六	十月十六日	大口求人數 四	小口求人數 五
十月十七日	大口求人數 五	小口求人數 一	十月十八日	大口求人數 一	小口求人數 一	十月十九日	大口求人數 五	小口求人數 二	十月二十日	大口求人數 九	小口求人數 五

福井縣求人申込

業務種類	雇人期間	採用見込數		賃金	事業主住所氏名
		男	女		
藥種商店員	無期	十四歲乃至十七歲	一	一ヶ月五圓	照手上町三二 齋藤長九郎
同 女中	同	十七歲乃至四十歲	一	一ヶ月五圓	同
乾物商店員	同	十三歲乃至十七歲	二	一ヶ月五圓	同 町二五 渡邊彌右衛門
罐詰商職人	同	二十歲乃至三十歲	二	一ヶ月二十圓	同 町二三 大戸與三兵衛
吳服商女中	同	十四、五歲	一	一ヶ月五圓	照手中町七〇 島田平造
同 丁稚	同	十四、五歲	一	一ヶ月五圓	同
紙商丁稚	同	十二、三歲	一	一ヶ月五圓位	同 町七四 小林久兵衛
理髮業見習	五年	十四歲位	一	一ヶ月五圓	照手下町七四 宮前喜作

割烹店女中	無期	二十歲乃至二十五歲	一	一ヶ月五圓	照手上町九二 荒川仁松
同	同	十七歲乃至三十歲	一	一ヶ月五圓	佐久良下町二七 山分ユウ
綿糸綿布商	同	十五、六歲	二	詳	佐久良中町一〇 小野橋三郎
人力車業	同	一日	一	一圓三十錢	佐久良下町一九 野勢五作
同	冬期間	一圓三十錢	一	一圓三十錢	同
機業(女中)	無期	一	一	六十錢	同 町四四 山口喜平
洗張業	同	一圓二十錢	一	三十錢	九十九町二二 明珍彦七
飲食店	同	十五歲乃至十七歲	二	一圓三十錢	同 町七三 藤本房吉
人力車營業	同	一圓三十錢	一	詳	同 町 齋藤宇平
理髮業	同	十四、五歲	一	不詳	榮柳町 柳田重作
魚商	同	十五歲乃至二十歲	一	三十錢乃至五十錢	九十九町 京谷捨藏
割烹店	同	十五歲乃至十八歲	一	同上	石場畑方森嚴寺 村上清藏
同	無期	同上	一	一ヶ月三圓	石場畑方新高 田中太郎
飲食店	同	一	一	一ヶ月三圓	同 渡邊所 金吉
機業	同	一	一	五十錢乃至一圓	石場畑方八幡向 中山由松

荷車工業	同	十四、五歲一	一	使用後決定	一	湊下町一〇八	與作
洋家具製作業	同	十四、五歲二	一	同	一	同町一〇	三吉
菓子製造	同		一	一圓五十錢	一	手寄中町三四	澤吉
機業	同		一	三十錢	一	大和上町	原田善三郎
石工業	五ヶ年	十五歲位三	一	年期奉公的	一	花月中町三〇	島田彌三吉
機業	無期		二	八十錢	一	同	飯塚善太郎
同	同		二	八十錢	一	同	稻上佐市
同	不定		一	一ヶ月三圓位	一	乾下町	土田重
同	未定		三	日給四十錢乃	一	簀川中町一五ノ一	野坂瀨平
同	無期		二〇	日給三十錢乃	一	圓山東村下四ッ居	大矢精四郎
製綿	同		一〇	至五十錢	一	松本地方	豐島上町四七
商業	同	十五歲乃至十八歲	一	一ヶ月六圓乃	一	同	飯田勸工場
子守業	同		一	衣食支給	一	手寄上町	岡研
機業	同		二	一	一	日ノ出下町一五	富士

醬油製造	同	二	一	一ヶ月十五圓	一	相生町三七	山田庄太郎
産婆業	當分		一	一ヶ月十五圓	一	常磐木町六四	福島源太郎
酢素製造業	無期	十四歲乃至十五歲	一	一ヶ月五圓	一	相住町一八	市橋覽治
料理屋業	同	十八歲位	二	一ヶ月十三圓	一	同	坂井愛之助
自轉車業	同	十三、四歲一	一	未定	一	同	山上又七
パン製造業	同	十五、六歲二	一	同	一	足羽下町一	蔦田伊之助
指物業	同	十五、六歲一	一	同	一	同	大町三
藥種商	同		一	同	一	同	上町八
割烹店	無期		一	同	一	足羽下町七〇	浦ヲ
漆器商	同	十五、六歲三	一	未定	一	足羽上町四二	藤田與市郎
機業	同		一	未定	一	足羽上町四五	岸要梅吉
自轉車修繕業	同	十六、七歲一	一	未定	一	同町二九	藤田實
葯莖製造	同	十六、七歲一	一	同	一	同町六九	坂本鐵之助
眼鏡製造	同		一	同	一	同町七六	佐々木久志
吳服商	同		一	同	一	同町二五	清水金右衛門

女中	同	十五歲乃	一	同	一月九圓	同居人
宿屋業	同		一	同居人	居住枝上町八三	三郎
瓦斯局人夫	無期		一	同居人	成町三ノ丸	高島定吉
京染悉皆	同		一	同居人	同	花木魁三
外交員	同		一	同居人	豐島片町四七	細田銀十郎
土木請負業	大正十三年三月末日迄	四〇〇	一	同居人	東下町二三	嘉久越合名會社
絹細職工	無期		一	同居人	同町三六	牧田元吉
假治職	同		一	同居人	東上町七四	佐々木久藏
機業	同		一	同居人	浪花中町五〇	宮川利之助
同	同		一	同居人	同町一四〇	宮川利平
同	同		一	同居人	大野郡勝山町	松文機業場
機業女工	十二年十月下旬 十三年七月下旬		五	同居人	今立郡江町	山田織物株式會社
同	無期	十五歲以上 二十五歲迄	七〇	同居人	同郡舟津村	今立撥糸織物會社
同	同		四〇	同居人	同郡新樽江村	酒井伊四郎
同	同		五〇	同居人	遠敷郡奧名田村	石原材業部
木挽	同		一	同居人	同上	同上

勞働無期	五	一日一圓五十錢以下	一	遠敷郡奧名田村	石原材業部
線路工手	三	一日一圓	一	敦賀保線區	小濱出張所
線糸工女	一	一日九十錢	一	遠敷郡雲濱村	雲濱製糸工場
備人	二	一月三十圓	一	同	小濱郵便局
線糸工女	一	一日九十錢	一	同	遠敷製糸工場
計	五〇五		二二二		

愛知縣求人申込

十月十九日愛知縣知事ヨリ中央職業紹介事務局へ女工募集

ニ付キ左ノ電報アリタリ
當市ニ於テ綿糸紡績製帽女工一〇〇名綿布織女工一〇〇名
名同任上女工二〇名雜事婦一〇名希望ノ工場アリ委細文

災害地職業紹介所

大正十二年十月十三日調

所名	位置	區分	備考
東京市中央職業紹介所	東京市神田區鎌倉河岸神田橋際	燒失新築	バラック建六十九坪(實施中)
東京市中央職業紹介所	東京市役所前	新設	バラック建二十四坪(同上)
東京市中央職業紹介所	東京市淺草區玉姬町一二六	燒失新築	バラック建二十四坪(同上)
東京市中央職業紹介所	東京市淺草區新堀町三〇	從前通リ	
東京市中央職業紹介所	東京市小石川區大塚辻町	移轉新築	バラック建二十四坪(同上)
東京市中央職業紹介所	東京市下谷區上野三橋町一三	燒失新築	バラック建二十四坪(同上)
東京市中央職業紹介所	東京市淺草區傳法院前	燒失新築	バラック建二十四坪(同上)
東京市中央職業紹介所	東京市四谷區花園町一〇三	從前通リ	

警察署別	職工數	工場																			
		染織工場	機械及器具工場	化學工場	飲食物工場	雜工場	特別工場	計	合計	被害ナキモノ	被害ナキモノ										
神奈川	二																				
伊勢佐木町	一																				
加賀町	一																				
山手本町	一																				
計	二																				
戸部	三																				
壽町	三																				
神奈川	三																				
伊勢佐木町	一																				
加賀町	一																				
山手本町	一																				
計	三																				
合計	二																				

警察署別ニ被害ノ程度ヲ見ルトキハ神奈川警察署管内ニ於テ被害ナキモノ多キヲ見ル之レ同警察署管内ニ於テハ市ノ外廓ニ接近セル工場アリ幸ニシテ火災ノ難ヨリ免レタルモノ多カリシニ由ル

之ニ反シ被害程度顯著ナルモノハ加賀町、戸部、伊勢佐木ノ各警察署管内ニ多ク之ヲ見ル就中加賀町警察署管内ノ如キ

キ總工場數五十ノ中全焼セルモノ四十九ノ多キニ達シ全滅ノ状態ニアリ其ノ他多數ノ機械器具工場及ヒ染色工場ヲ有シ市内ニ於ケル工場地帯タル戸部警察署管内ノ如キ被害著シク全焼セルモノ管内總工場數ノ七割ノ多キニ上リ幸ニシテ祝融ノ厄ヲ免レシモノ或ハ全潰シ或ハ半潰シ被害ナキモノニ至リテハ寥寥乎トシテ數フルニ足ラス

三、失業職工數調 (警察署別)

警察署別	職工數	染織工場	機械及器具工場	化學工場	飲食物工場	雜工場	特別工場	計
戸部	二八〇	六、八〇一	五、八	一、四九	二、四	九、〇六五		二八〇
壽町	二九	五、七八二	八二	二、五	八	六、二五八		二九
神奈川	一五九	八、四四九	一、七	二、七	二、七	一、二八		一五九
伊勢佐木町	七二七	二、七五	一、一八	九、三	八四	六、一九		七二七
加賀町	一四一	四、四九	六、〇四	九	七、六	三、二九四		一四一
山手本町	八三	二、八六	六	一、四七	一、四七	六、一一		八三
計	一、〇八一	三、三七	四	三、四	一、四七	一、三〇		一、〇八一
伊勢佐木町	一、〇八一	三、三七	四	三、四	一、四七	一、三〇		一、〇八一
加賀町	一、〇八一	三、三七	四	三、四	一、四七	一、三〇		一、〇八一
山手本町	一、〇八一	三、三七	四	三、四	一、四七	一、三〇		一、〇八一
計	三、七九	九、四三三	一、四六八	二、四七	二、四七	一、七、五二		三、七九
伊勢佐木町	三、七九	九、四三三	一、四六八	二、四七	二、四七	一、七、五二		三、七九
加賀町	三、七九	九、四三三	一、四六八	二、四七	二、四七	一、七、五二		三、七九
山手本町	三、七九	九、四三三	一、四六八	二、四七	二、四七	一、七、五二		三、七九
計	四、八	六、三四三	一、四六八	二、四七	二、四七	一、七、五二		四、八

茲ニ失業職工トハ震災ニヨリ辭職シ又ハ解雇シタル職工ヲ謂フ

伊勢佐木町、加賀町、山手本町ノ三警察署管内ニ於テハ失業職工數不明ナルモノ少カラズ

伊勢佐木町警察署管内ニ於ケル失業職工不明ナル工場數……………一三

今之等三警察署管内ニ於ケル工場ヲ除キ殘餘ノ戸部、壽、神奈川ノ三警察署管内ニ於ケル失業職工數ヲ調査セルニ總職工一三、四八七人ニ對シ七、四八八人ノ失業職工ヲ出シタルヲ以テ總職工ニ對スル割合五分六分ニ當ル

……………三二

更ニ警察署別ニ之ヲ觀察スルトキハ工場地帯タル戸部警察署管内ヨリ最多クノ失業職工ヲ出シ管内總職工ニ對スル割合六割九分ノ多キニ達ス

壽警察署管内之ニ次キ五割五分ノ割合ヲ示セルカ神奈川署管内ニアリテハ僅カニ一割九分ヲ占ムルノミニシテ失業職工數ハ被害程度ト略一致セルヲ見ル

又工場別ニ之ヲ觀察スルトキハ最多クノ失業職工ヲ出セルハ機械器具工場ニシテ染織工場之ニ次キ雜工場、飲食物工場、化學工場等之ニ次ク即機械器具工場ニアリテハ失業職工ハ總職工ノ六割九分ノ多キニ達シ戸部警察署管内ノ機械器具工場ノ如キ總職工ニ對シ八割四分ノ失業職工ヲ出セリ

其ノ他割合ノ顯著ナルモノヲ求ムレハ壽町警察署管内ニ之ヲ見ルヲ得ヘク管内ノ飲食物工場ヨリハ九割三分ノ失業職工ヲ出シ雜工場ヨリハ七割二分染織工場ヨリハ七割ノ失業職工ヲ出セリ

四、工場ノ復舊狀況調

工場別	復舊ノ有無		計
	復舊セ ルモノ	復舊ナ キモノ	
染織工場	一	一	二
機械及器具工場	一	一	二
化學工場	三	一	四
飲食工場	一	一	二
雜工場	一	一	二
未定	一	一	二
不明	一	一	二
計	一	一	二

特別工場

横濱市内ニ於ケル適用工場二百九十九ノ中震災後既ニ復舊セルモノ及復舊ノ見込アルモノハ總數ノ約三分ノ一ニシテ今後ノ方針未定又ハ不明ニ屬スルモノハ總數ノ半數ニ達シ全然復舊ノ見込ナキモノハ總數ノ約一割五分ニ當ル

工場別ニ之ヲ觀察スレハ復舊ノ見込多キハ機械器具工場(四割二分復舊ノ見込)ヲ首トシ雜工場(四割復舊ノ見込)化學工場(三割復舊ノ見込)等之ニ亞ク

機械器具工場ハ前述ノ如ク七割弱ノ失業職工ヲ出セルモ復舊ノ見込多キヲ以テ其ノ時期ニシテ遅カラサルトキハ多少失業ノ程度ヲ緩和スルヲ得ンカ

埼玉縣下ニ於ケル適用工場ノ震災被害調査概要

(大正十二年十月調社會局第一部監督課)

縣下ニ於ケル適用工場ノ震災被害狀況ヲ調査スルニ縣ノ南部ニ於テ著シク北部ニ移ルニ從ヒ次第二輕微ナルヲ見ル即北足立郡ニ於テ被害最モ著シク北葛飾南埼玉ノ二郡之ニ次キ大里郡、兒玉郡等ハ輕微ニシテ比企郡ニ至リテハ被害ノ認ムヘキモノ全クナシ

縣下ノ被害適用工場總數ハ二百七ニシテ其ノ七割七分ハ北足立郡ノ占ムル所又損害見積總額二百九十六萬三千七百九十圓中其ノ約八割ハ亦北足立郡ノ占ムル所ナリ以テ同郡下ニ於ケル被害ノ激甚ナリシヲ推察スルニ足ルヘシ被害ノ程

度ヲ檢スルニ火災ノ厄ニ遭ヘルモノ僅ニ一工場(北足立郡草加町ノ煉瓦製造工場)ニ止マリシハ不幸中ノ幸ト謂フヘク唯四棟ヲ焼失セシニ止マル其他全潰セルモノ三百六十二棟半潰セルモノ五十四棟ヲ算シ煙突ノ毀損セシモノ五十六件ナリ

被害工場ヲ通シ死亡者十四人(内女十人)負傷者五十四人(女四十七人)ニシテ之等死亡者ハ北足立郡、南埼玉郡、北埼玉郡ヨリ出セルモノトス死傷者ハ何レモ女子ニ多ク死亡者ニ付テハ其ノ七割負傷者ニ付テハ其ノ八割七分ヲ占メ皆製糸工場ヨリ出タルモノトス其ノ死傷原因ハ工場、寄宿舎、食堂ノ倒壊ニ因ルモノナリト雖南埼玉郡ノ一製糸工場ニ於テハ煙突ノ倒壊ノミニ因リテ八名ノ死傷者ヲ出セリ業務別ニ觀察スルトキハ鑄物工場ノ被害最モ顯著ニシテ縣

下ニ於ケル總被害工場數二百七中過半ハ同工場ノ占ムル所ニシテ織物工場(被害工場數三十三)製糸工場(被害工場數十六)酒造工場(被害工場 十)等之ニ次クト雖死傷者ヲ出セシ點ニ於テ特ニ注意ヲ要スヘキハ製糸工場ナリトス

終リニ縣下ニ於ケル激震地タリシ北足立郡ノ被害狀況ヲ檢スルニ郡下被害適用工場百五十九ノ中百十三即七割ハ川口町ニ於ケル鑄物工場ノ占ムル所ニシテ實ニ同町ノ鑄物工場ハ全滅ノ厄ニ遭ヘリト稱セラル幸ニシテ死亡者ナク少數ノ負傷者(四名總テ男工)ヲ出セルニ止マリシト雖損害見積額百四十三萬四千三百圓ニ達シ倒壊棟數ハ縣下ニ於ケル總倒壊棟數ノ實ニ九割強ヲ占ムルヲ以テ這回ノ震災ハ鑄造業ノ將來ニ一大打擊ヲ與ヘタリト謂フヲ得ヘシ

郡市別	工場數	被害			損害見積額	死亡		負傷	
		全燒	全潰	半潰		男	女	男	女
川越市	四	一	一	一	五、三〇〇	一	一	一	一
北足立郡	一五	四	三〇〇	四	二、四四、二〇〇	三	六	六	一九
入間郡	二	一	一	一	二九、四五〇	一	一	一	一
比企郡	一	一	一	一	一、五〇〇	一	一	一	一
兒玉郡	一	一	一	一	八、八〇〇	一	一	一	一
大里郡	九	一	一	一	一、三〇〇	一	一	一	一
北埼玉郡	五	一	一	一	一、三〇〇	一	一	一	一
南埼玉郡	九	一	一	一	七、一〇〇	一	一	一	一
計	一〇〇	一	一	一	一〇〇、〇〇〇	一	一	一	一

北葛飾郡	九	一	七	二八、〇〇〇	一	一	一	一	一
計	二〇七	四	三三	五、九三、七〇〇	四	〇	二四	七	四
非適用工場ノ被害	二八	一	一	四、五、六九	一	一	一	一	一

罹災失業者救済ニ關スル件

(大正十二年十月二十七日大阪地方職業紹介事務局報告)

大阪職業輔導會事業狀況報告

大阪職業輔導會ニ於テハ財團法人弘濟會ト聯絡ヲ執リ左記ノ通第一回授産ヲ開始スルコトニ相成候條及報告候記

- 一、課目及定員 活版印刷 三〇名
- ミシン裁縫 一五名
- 一、工 賃 兩課トモ二拾錢乃至六拾錢
- 一、場 所 西成群豐崎町北長柄財團法人弘濟會授産部
- 一、經費豫算 設備費、補助費等ヲ合セ七千八百圓

大正十二年十月二十五日印刷
大正十二年十月二十五日發行

東京市麴町區元衛町一番地

中央職業紹介事務局
(電話丸之内二五二五)

印刷所 外務省印刷所

終

